

[イメージングデバイス (IVUS・OCT) ハンズオンセミナー]

開催日時：2026 年 11 月 22 日（日）

第 1 回 9：30～11：00（9：20 受付開始）

第 2 回 13：30～15：00（13：20 受付開始）

会 場：F204

定 員：各回 6 名（各社 3 名ずつのグループに分かれ、45 分ごとに交代して両社のハンズオンを受講）

参 加 費：無料（学会参加者のみ）

参加申込：事前申込制（詳細は学会 HP をご確認ください）

使用機器：VISICUBE、OCT Ultreon コンソール、OCT 画像解析ノート PC、テーブルサイドコントローラー、テーブルサイドコントローラー、OCT Pullback demo キット

カテーテル治療（PCI）において、IVUS や OCT などの血管内イメージングデバイスは病変形態の評価や治療戦略の決定に不可欠である。日本では、これらのデバイスが多く施設で用いられており、安全かつ迅速に運用するためには、臨床工学技士による正確なデバイス管理とトラブル対応能力が求められる。

本セッションでは、これからカテーテル治療に携わっていくスタッフを対象に、各イメージングデバイスの基本操作から緊急時のバイルアウト対応までを網羅した実践的なハンズオンを実施する。第 1 部では「デバイスのセッティングと基本操作」として、各カテーテルの基本的な操作方法に加え、カテーテル断線やエア混入時の対応方法など、トラブルを未然に防ぐための正しい扱い方を実践的に解説する。

第 2 部では「トラブルシューティング」として、カテーテル治療の重篤な合併症のひとつであるカテーテルスタック時のバイルアウト対応について、具体的な対処法を解説する。

これらに加え、治療支援に直結する画像読影の基礎についても取り上げる。

デバイスの準備から万が一のトラブル対応、画像評価に至るまで、カテーテル室で臨床工学技士に求められる知識・技術を網羅した内容となっている。本セッションを通じて、明日からのカテーテル室業務に活かせる実践スキルを習得し、より安全な PCI につながることを目指す。

インストラクター：

テルモ株式会社担当：

川崎 誠（済生会横浜市東部病院）

鈴木 涼平（東海大学医学部附属八王子病院）

アボットメディカルジャパン合同会社担当：

永田 吾一（東海大学医学部附属病院）

長橋 勇輝（湘南鎌倉総合病院）

メーカー担当者各 1 名

[EIT ハンズオンセミナー]

開催日時：2026 年 11 月 22 日（日）

第 1 回 10：40～12：10（10：30 受付開始）

第 2 回 14：30～16：00（14：20 受付開始）

会 場：F204

定 員：各回 15 名（5 名ほどのグループに分かれて実施いたします。）

参 加 費：無料

参加申込：事前申込制（詳細は学会 HP をご確認ください）

使用機器：Dräger PulmoVista500

Electrical Impedance Tomography（EIT）は、胸郭に装着した電極を介して肺内のインピーダンス変化を測定し、換気分布を非侵襲的かつリアルタイムに可視化できるモニタリングである。人工呼吸管理中の患者において、換気の不均一性や体位、呼吸条件の変化に伴う換気分布の変化を把握する手段として、臨床応用が注目されている。一方で、臨床で EIT を有効に用いるためには、機器の基本的な使用方法に加え、表示される画像や指標を正しく理解し、肺区域毎の変化や医療介入前後の変化を読み取る視点が重要となる。

本セッションでは、日常診療で EIT を活用すべく、臨床工学技士を対象に、ハンズオン形式で EIT の基本的な使用方法、画像の見方、体位変換などによる換気分布の変化を確認する。また、症例検討を通じて、EIT から得られる画像や指標を人工呼吸管理にどのように活かすかを考える。

本セミナーを通じて、EIT をより身近なモニタリングとして捉え、人工呼吸管理における活用を考える一助とすることを目的とする。

インストラクター：

ドレーゲルメディカルジャパン

〔 DIEMAS ハンズオンセミナー 〕 ～災害時の情報共有を体験しよう～災害対策委員会

開催日時：2026 年 11 月 22 日（日）

会 場：フォワイエ

定 員：なし

参 加 費：無料

参加申込：なし

使用機器：スマートフォン

大規模災害時には、透析医療を継続するために各施設から迅速かつ正確な情報を収集・共有することが不可欠です。その情報基盤となるのが、透析情報共有マッピングシステム「DIEMAS」です。本企画では、DIEMAS の登録方法から実際の情報入力、登録した内容が地図上やシステム上にどのように反映されるのかを体験できるハンズオンを実施します。

DIEMAS は、各施設で最大 4 名まで登録可能であり、さらに LINE ID を利用した簡便な登録にも対応しています。当日は、スマートフォンを用いて実際に登録を行い、災害時の情報共有の流れを体験していただきます。

災害時の情報は、一人ひとりの入力が必要で、地域全体の透析医療を支える重要な基盤となります。本ハンズオンを通じて DIEMAS を身近に感じていただき、多くの施設・多くのスタッフに登録いただくことで、神奈川県全体の災害対応力向上につなげたいと考えています。ぜひご参加ください。